

はんなんTV(第 11 回 1219) 台本

コーナー名	
オープニング	＜「阪南市民の健康づくりの推進等に係る連携・協力に関する協定」締結式 -約 20 分＞
<p>12:00 (結果) 12:00-13:26</p> <p>出演) ・森下(司会)</p> <p>ゲスト ・水野市長 ・常峰堺支社長</p> <p>・竹中(進行) ・田中(介添) ・新川(はなてい) (健康増進課) ・イメージキャラクター はなてい (阪南市) うさりん (明治安田生命)</p> <p>(準備するもの) ・横断幕 ・幟2本 ・3DマテリアルDVD</p> <p>机に並べる。 ・協定書 2通 ・協定書机がー・パン (危機管理課から) ・カメラ (秘書広報課から) ・ミニはなてい ・ミニうさりん</p>	<p>オープニング 長机に着席。カメラに向かって右手 水野市長、左手 常峰支社長 長机左横「うさりん」その左斜め前 竹中・森下 マイクを持って立つ。 水野市長側「はなてい」 常峰支社長側「うさりん」立つ。</p> <p>(森下) : みなさん、こんにちは。 「阪南 TV (はんなんティービー)」の時間がやってきました。 本日の司会を務めます、阪南市秘書広報課の森下です。 よろしくお願いします。</p> <p>(森下) : この番組は、「阪南市役所 防災コミュニティセンター(阪南まもる館)」 から、生放送でお送りしています。</p> <p>(森下) : 本日は、阪南市健康部健康増進課長の竹中さんにお越しいただいています。 よろしくお願いします。</p> <p>(竹中) : よろしくお祈いします。</p> <p style="text-align: center;">＜拍手＞(全員で拍手します)</p> <p>(竹中) : 今日は、明治安田生命様の「うさりん」が応援に駆けつけて来ています。</p> <p>(森下) : 「うさりん」来てくれてありがとう! 今日は、よろしくお願いしますね。</p> <p>カメラ キャラクターに寄る。 (「はなてい」「うさりん」手を振ってPR)</p> <p>(森下) : ところで竹中さん、健康増進課(保健センター)からは、これまでも健康に 関してのご案内をいろいろと持ってきてくださいましたよね。</p> <p>(竹中) : はい。今回は、「市民の健康づくりに関する連携協定」についてご紹介させ ていただきます。</p> <p>(森下) : ありがとうございます。 これからは、詳しいことをよくご存知の竹中さんに進めていただこうと思 います。 それでは、竹中さんお祈いします。</p>

カメラ 進行役の竹中課長に寄る。

説明したいこと

(竹中)：それでは、ただいまより、市民の皆様の健康づくりを推進するため、明治安田生命保険相互会社様と阪南市との『阪南市民の健康づくりの推進等に係る連携・協力に関する協定 締結式』を始めさせていただきます。締結式に先立ちまして、本日の出席者をご紹介します。

明治安田生命保険相互会社 堺支社長の 常峰 光雄（つねみね みつお）様でございます。（座ったまま一礼）

阪南市長の 水野 謙二（みずの けんじ） でございます。（座ったまま一礼）

(竹中)：続きまして、本協定の内容について、概要を説明させていただきます。本協定は、明治安田生命保険相互会社様と阪南市が連携及び協力をを行い、市民の健康づくりの推進等に向けた取組を通じて、市民のより一層の健康的な生活の実現を図ることを目的とする協定でございます。

(竹中)：それでは、協定書の調印に移らせていただきます。お手元でございます、協定書に署名をお願いいたします。

署名後、交換を行います。

(協定書に署名)

(竹中)：ただいま、協定書2通に署名が終わり、締結の運びとなりました。それでは、写真撮影を行いますので、常峰支社長、水野市長は、協定書をお持ちいただき、お並びください。（机の後ろで）

写真は、まず、協定書をお持ちいただいているところを撮影します。

続いて、常峰支社長、水野市長に握手いただき、撮影させていただきます。（協定書を置いて、両手で握手）

写真2ポーズ

- ①協定書を手に 1枚
- ②握手しながら 1枚

(写真撮影のイメージ)

記録用写真は
テレビカメラ後方から
※事前に撮影位置を
チェック

対談中
フリップ 掲示

(竹中)：ありがとうございました。ご着席ください。(再び着席)

(竹中)：最後に、今回の協定に至った経緯を含め、常峰支社長と水野市長のお二人からコメントをいただくとともに、これからの取組等について、ご対談をいただきたいと思います。
では、よろしくお願いします。

(【別紙】に沿って対談)

PR動画 常峰支社長のところで流す。(2分7秒)

(竹中)：常峰支社長、水野市長、ありがとうございました。
以上で、『阪南市民の健康づくりの推進等に係る連携・協力に関する協定締結式』を終了いたします。
今後は、本日の協定に基づき、様々な取組をおこなってまいります。
先ほどもお話がありましたが、今後の予定としましては、

画像 1 講座イベント案内

(竹中)：3月7日(土)のサラダフェスタで、血管年齢などを測定できる健康ブースを出します。
また、3月19日(木)には、阪南まもる館で「座りすぎには要注意！～立ち上げれ！座りすぎ改善計画～」と題した健康セミナーを開催します。
詳しくは、広報はんなん3月号または保健センターまでお問い合わせください。

(森下)：竹中さん、ありがとうございました。
ところで、明治安田生命保険様との協定では、SDGsについても連携していかれるそうですね。

(竹中)：そうですね。まずは、3番「すべての人に健康と福祉を」、17番「パートナーシップで目標を達成しよう」からとなりますが、これからの取組の中で、目標が増えていくかもしれません。

(森下)：市民のみなさんが、健康に、そして、いつまでも元気に過ごせるまち阪南市にしていきましょう。
「うさりん」、「はなてい」 これからもPRをお願いしますね。
(手を振る)

(森下)：本日は、明治安田生命保険相互会社 堺支社長の常峰(つねみね)様 阪南市の水野市長にご出演いただき、

	<p>『阪南市民の健康づくりの推進等に係る連携・協力に関する協定』についてご紹介いただきました。</p> <p>健康増進課の 竹中さん、そして、「うさりん」「はなてい」ありがとうございました。</p> <p>(竹中)：ありがとうございました。 (キャラクターは手を振って応える。)</p>
--	--

※※CMの間 残りの写真撮影→片付け→コーナー①へ模様替え CM流し続ける。

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（全編） 1分30秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=I2UY8IVziLw&t=15s>)

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（観光編） 45秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=B6a76Dhpgsw>)

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（子育て編） 52秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名	
コーナー① <「障がい者週間・ふれあいキャンペーン」 -約9分->	
<p>12:24</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下 (司会) ・石川 (ナビゲーター) ・波戸元 (市民福祉課) ・打越 (阪南市さつき園 まつのき園施設長) <p>(用意するもの)</p>	<p>片付け、②道具 担当・・・森下、石川、女性職員 長机、椅子並べる担当・・・行経室、電算班、男性職員 横断幕・幟はすず担当・・・写真撮影後 男性職員</p> <p>(森下)：お待たせしました。ここからは、いつもの阪南 TV をお送りします。 ナビゲーターは、秘書広報課の石川さんです。 よろしくお願ひします。</p> <p>(石川)：よろしくお願ひします。</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow;"><拍 手> (全員で拍手します)</p> <p style="background-color: #00b0c0; color: white;">画像 1 フリップを見ながら</p> <p>(石川)：本日のコンテンツは・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="background-color: yellow; text-align: center;">【フリップ】</p> <p>◇「阪南市民の健康づくりの推進等に係る連携・協力に関する協定」 締結式</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 障がい者週間・ふれあいキャンペーン 2 阪南ブランド十四匠 一尾崎工業株式会社一 3 日本語発表会 ～多文化交流をめざして～ <p>★イベントのご案内★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月12日(日) 令和2年阪南市消防出初式 ・ 1月12日(日) 「成人式」のご案内 です。 </div> <p>(森下)：石川さん、今回も、市民のみなさんが、阪南市の「魅力」、そこで活躍する「ヒト」の魅力をご紹介くださると聞いていますが・・・</p> <p>(石川)：はい、そうなんです。アドリフ どうぞお楽しみください。</p> <p>(森下)：それでは、最初のコーナーです。 「障がい者週間・ふれあいキャンペーンについて」です。 市民福祉課の波戸元(はともと)さん、阪南市さつき園まつのき園施設長の打越(うちこし)さんにお越しいただいています。 よろしくお願ひします。</p> <p>(波戸元・打越)：よろしくお願ひします。</p>

<拍手> (全員で拍手します)

(石川) : 本でご紹介いただく「障がい者週間・ふれあいキャンペーンについて」は、SDGs (エスディージーズ) 17 の目標のどれに結びついていますか。

(波戸元) : 3番「すべての人に健康と福祉を」
10番「人や国の不平等をなくそう」 に該当します。

説明したいこと

(石川) : それでは、この「障がい者週間」について、教えてください。

(波戸元) : 「障がい者週間」は、平成16年6月の障害者基本法の改正により、国の中に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者の方が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、設定されました。

画像 1 ふれあいキャンペーン①

画像 2 ふれあいキャンペーン②

(波戸元) : 「障がい者週間」の期間は、毎年12月3日から12月9日までの1週間です。この期間を中心に、国、地方公共団体、関係団体等においては、様々な意識啓発に係る取組を展開します。

阪南市では「障がい者週間」の関連行事として、「ふれあいキャンペーン」「障がい者の方々による文化・芸術発表会」を行いました。

画像 3 ふれあいキャンペーン③

(打越) : 今年は、12月4日(水)に「ふれあいキャンペーン」をおこないました。阪南市内の障がい者と、障がい者や障がい児を支援する人々が、「いっしょだよ！心はひとつ」をスローガンに街頭キャンペーンをしました。

画像 4 ふれあいキャンペーン出発式 1 適切に切り替える

画像 5 ふれあいキャンペーン出発式 2

画像 6 ふれあいキャンペーン⑥

(打越) : 写真は、「ふれあいキャンペーン」出発式のもので。

障がい者就労支援事業所で制作した物品などを、市長から激励の言葉を受けて、市内の駅前や市内のスーパーで配布しながら、障がい者、障がい児の人権啓発活動に取り組みました。

(石川) : 「キャンペーン」や「発表会」は 17番の「パートナーシップで目標を達成しよう」にもつながっていますよね。

(波戸元)：そうですね。「障がい者の方々による文化・芸術発表会」は、「人権を考える市民の集い」終了後、サラダホール大ホールで、さつき園に通所している障がい者が「さおり織ファッションショーと合唱」を披露しました。

画像 7 ファッションショーさつき全体

(森下)：文化・芸術発表会は、たしか、11月30日(土)でしたよね。

ステージの幕があがったとき、びっくり！

「みなさん、いつの間に練習したのかな？」と思いながら、楽しませていただきました。

(打越)：発表したさつき園を紹介します。

始まりは、「泉南障がい者(児)を持つ親の会」の運動により、阪南支部ができ、「阪南町もみの木会」が発足されました。

その流れや働きかけが色々ある中で、

昭和56年4月に「阪南町立さつき共同作業所」ができました。

阪南市(阪南町)の障がい者の施設 第1号となります。

平成3年には通所授産施設を経て、平成18年～22年には社会福祉法人日本ヘレンケラー財団に指定管理受託し、平成23年からは民営となり、現在に至ります。

障がい者の方が、日中通う場所としての生活介護や就労する場所として、就労継続支援B型を運営する中、今回、発表の場をいただくことができました。

画像 8～9 さつき①～②

(打越)：大きな舞台での発表は、初めてとなる中、「地域の皆様と共に」の考えから協力いただいた「さをり織り工房 千草」の皆様、阪南市文化協会文芸部の皆様にも参加いただきました。

この趣旨に賛同いただいた、市長はじめ、阪南市でご活躍されている代表の皆様にも出演いただきました。

画像 10 さつき③

(波戸元)：さつき園に通所している、障がい者の方、市長や教育長など、みなさんパリコレのモデルのようにさをり織をうまく着こなして、素敵なモデルぶりですね。

画像 11 さつき④

(森下)：次々とみなさんが作品を身にまとって、舞台上で堂々とポーズング。

とっても、印象的なステージでしたね。

画像 12 手話合唱 全体①

画像 13 手話合唱 全体②

(打越)：ステージの最後の合唱では、阪南市障がい者（児）団体連絡会の会員さんや観覧に来られた市民さんなど、全員で手話を交えて、楽しく歌いました。

画像 14 合唱全体**画像 15 事業所イベント販売風景①****画像 16 事業所イベント販売風景② 適当に切り替える**

(波戸元)：「ふれあいキャンペーン」や「発表会」を通じ、市民の方々に障がい福祉を理解してもらい、障がい者の方も住み慣れた地域で、安心・安全に生活できるように、市では、阪南市社会福祉協議会と協働で「地域共生社会」に取り組んでいます。

(波戸元)：また、さつき園以外にも、阪南市内には、障がい者の就労支援事業所がたくさんあります。

個々の就労支援事業所では、地域のイベントなどに参加して、地域交流を図っています。

また、次の機会に詳しくご紹介できればと考えています。

(石川)：今日は、市民福祉課の波戸元（はともと）さん、阪南市立さつき園まつのき園施設長の打越（うちこし）さんにお話を伺いました。
ありがとうございました。

(2人)：ありがとうございました。 **<拍手>（全員で拍手します）**

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（観光編） 45秒」（添付）

<https://www.youtube.com/watch?v=B6a76Dhpgsw>

コーナー名	
コーナー②	<阪南ブランド十四匠 -尾崎工業株式会社- > -約 12 分->
<p>12：36</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下 (司会) ・石川 (ナビゲーター) ・砂本(スナモト)社長 (尾崎工業(株)) ・水本(ミズモト)次長 (阪南市商工会) <p>(用意するもの)</p> <p>わたしたちの郷土</p>	<p>(森下)：続いてのコーナーは、阪南ブランド十四匠のご紹介です。</p> <p>本日は、尾崎工業株式会社の砂本（スナモト）社長と阪南市商工会の水本（ミズモト）次長にお越しいたいしています。よろしくお願いいたします。</p> <p>(砂本社長・水本次長)：よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手> (全員で拍手します)</p> <p>(森下)：「阪南ブランド十四匠」は、7月の放送で取り上げさせていただき、陶芸家の「土工房轆轤（つちこうぼうろくろ）様」がご出演くださいました。今回は「尾崎工業株式会社様」です。</p> <p>(石川)：では、ここで「阪南ブランド十四匠」おさらいしたいと思います。確か「14」という数字は、ブランドの数ではないと説明いただいたかと。</p> <p>(水本次長)：はい。ブランドの数と考えるのが自然かもしれませんが、実はこの阪南ブランド十四匠という名前の由来は、近世の阪南に14の村が存在していたことから来ています。阪南市の山中溪は、熊野街道が通っていることもあり、鎌倉時代に人の往来が多く、宿場町として発展しました。そして、近世には14の村となり、錦織物や和泉瓦の製造、特産物である和泉砂岩の石切など、この地域特有の新しい産業が産まれることとなります。特に繊維関係では綿織物の技法が紀州の織屋から伝えられ、広幅木綿として江戸時代の後期に多く生産され、紋羽織として成熟し、地場産業として技術が発達すると共に「ものづくりの心」を大切にしている慣習が生まれました。その後、大阪市のベッドタウンとして都市化の進展による産業構造の変化などにより、新たな産業振興とともに「技」を磨き伝統産業として受け継がれてきました。その伝統産業としての「技」の伝承と「ものづくりの心」を尊重し、そのルーツをかつての14カ村に求め「阪南ブランド十四匠」として推進しています。</p> <p>「阪南ブランド十四匠」は現在25社を認証し、阪南市のものづくりの「技」を結集、「匠」を集い、積極的に地場産業の振興、発展の牽引役として活性化に邁進しています。</p> <p>(森下)：14の村があったから「十四匠」。素敵なネーミングですね。</p> <p>(石川)：時代により産業構造の変化がありましたが、地場産業の振興、発展を牽引していただいているのですね。SDGs（エスディーゼズ）の目標でいうと、8番「働きがいも経済成長も」、9番「産業と技術革新の基盤をつくろう」に当てはまると思います。</p>

	説明したいこと
わたしたちの郷土	<p>(森下) : はい。さきほど、「ものづくりの心」、「技の伝承」いうキーワードが出てきました。</p> <p>阪南ブランド十四匠の認証企業である尾崎工業さんは、どのような会社か教えていただけますか。</p>
	<p>(砂本社長) : 1943年(昭和18年)に阪南市尾崎町で私の祖父が創業しました。社名の尾崎工業は地名からきています。昭和の初め頃、工業とか産業は当時の会社名で流行っていたので「尾崎工業」になったと聞いております。尾崎工業というと何か硬いものを作っているようなイメージをよくもたれます。(なにを作っている会社か分かり難い)</p> <p>少し前から地元小学校3年生の社会見学を受け入れているので、最近になってやっと柔らかいものを作っている工場だと認識されてきています。余談ですが、阪南市の小学校教科書にも載せていただいているんです。</p>
	<p>(森下) : アドリフ ということは、76年の歴史があるということですね。</p>
	<p>(砂本社長) : はい。おかげさまで第77期に入っております。創業当初は綿紡績を主として製造していましたが、昭和44年頃から本格的に脱脂綿製造業になりました。今現在は、医療用衛生材料製造。主には脱脂綿製品を製造しています。</p>
	<p>(森下) : 脱脂綿ですか。私たちはふだん、何気なく使っていますが、脱脂綿ってどのように作られているのですか。</p>
	<p>(砂本社長) : これが製造工程を図にしたものです。</p> <p>画像1 脱脂綿製造工程 開始</p> <p>(砂本社長) : 原綿の輸入に始まり、原綿投入、混打綿、開織・カードという工程を経て、精練・漂白を行います。更に、水洗・脱水・乾燥を行い、最後にロール状に巻き取る事が多いです。非常に手間の掛かる工程を経て原綿(綿花)から脱脂綿にアップグレードされて行きます。</p> <p>余談ですが、生綿と脱脂綿では正反対の性質を持っています。生綿は油を吸って水は吸わない。脱脂綿は水を吸って油は吸わない。脱脂する前の綿には油分が含まれていて水をはじくんです。言葉の通り脱脂することによって脱脂綿になり吸収体になるわけです。</p>
<p>画像1 脱脂綿製造工程 終了</p> <p>画像2 コットンファーム 開始</p> <p>(砂本社長) : これはコットンファームの写真です。コットンの生産量はインド、中国、アメリカの順となっています。</p>	

脱脂綿は吸収力が重要ですので、インド綿のように太い繊維が向いています。昔はインドやパキスタンの綿花を多く使っていたのですが、自国産業保護のため輸出制限などの措置が度々行われたので、現在はアメリカやオーストラリアの原綿が多く使われています。

画像2 コットンファーム 終了

(石川)：この綿花を医療用に水洗や先ほどの製造工程のお話の中で、私たちにはあまり聞きなじみのない、「カード」という作業がありました。どのような作業ですか。

(砂本社長)：はい。こちらがカードの際に使用する機械です。

画像3 カード機 開始

(砂本社長)：このカードという作業は「すき綿」作業で繊維をクシでとくように揃え、短繊維や異物を除去します。整えられた綿はそのまま巻き取ったり、棒状にして巻き取ったりします。この機械作業は紡績の工程とほぼ同じです。

画像3 カード機 終了

(森下)：なるほど。そういった工程を経て、脱脂綿になるんですね。

(砂本社長)：そうです。この脱脂綿を加工して綿球、綿棒、ポールメン、止血綿などの製品となって、皆さまにご使用いただいています。

画像4 製品一覧 開始

(砂本社長)：今ご覧いただいているのが弊社の製品の一部です。

昔は尾崎工業でも原綿からの精練・漂白も行っていたのですが、現在では医療用脱脂綿に精製された原反を他社から購入し、主に脱脂綿加工を得意としているメーカーになります。

中でも外科で傷口の消毒時に使われる綿球や、歯医者さんで使われるポールメンが得意です。また全然違う分野で着物着付け時に使われる補整綿なども製造しております。

画像4 製品一覧 終了

(砂本社長)：弊社のキャッチコピーは「優しさにふれるコットン」です。

コットンの優しいさわり心地、清潔なイメージを言葉にしました。コットンは約8000年前から栽培されて使われている素材です。皆さんご存知の通りコットンは自然素材で、環境にも人にも優しく、多年草でCO2をたくさん吸収し、全てが役に立ち捨てる場所が無いスーパーな素材です。

綿は、糸・脱脂綿・布団・・・

種は、綿実油・再生繊維（キュプラ）・肥料・・・

茎・葉は、再生繊維（セルロース）・肥料・・・

まさに「ゆりかごから墓場まで」お世話になります。

このようなスーパー自然素材で仕事をさせていただいておりますので、今後も病院医療の発展と豊かな健康社会づくりのために努力を続けて参ります。

(石川)：みなさまにご使用いただける製品を、これからも作り続けていたいただきたいと思えます。

(森下)：水本さん、商工会さんも、いろいろ仕掛けていらっしゃるんですね。

これからも地域の活性化につながる取組を、ぜひ、ご紹介ください。

砂本社長、阪南ブランド十四匠として、阪南市の産業の牽引もお願いいたします。

(石川)：本日は尾崎工業の砂本社長、阪南市商工会の水本次長にお越しいただきました。

お忙しいところ、誠にありがとうございました。

(2人)：ありがとうございました。

<拍手> (全員で拍手します)

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（子育て編） 52秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名			
コーナー③ <「日本語発表会 ～多文化交流をめざして～」-約 23 分->			
<p>12:49</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下 (司会) ・石川 (MC) ・竹島 早苗 (日本語クラブ) ・河野 ニックテ (学習者) ・萩尾 ジュンコ (学習者) (用意するもの) 	<p>(石川) : 12月22日に開催される「日本語発表会」についてのご案内です。 日本語発表会を主催する阪南市日本語クラブから、指導者の竹島さん、そして学習者の河野(こうの)さん、萩尾(はぎお)さんにお越しいただいています。 よろしくお願いします。</p> <p>(竹島、河野、萩尾) : よろしくお願ひします。</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow;"><拍手> (全員で拍手します)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">説明したいこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>(森下) : 日本語クラブのみなさんは、日頃、東鳥取公民館で、地域にお住いの外国人の方に対して、生活に必要な日本語を指導していらっしゃいます。 日本語指導教室の活動については、今年の5月の阪南TVの放送に4人の方がご出演、ご紹介くださいました。 現在、教室には何名の外国人の方が学習されているのでしょうか？</p> <p>(竹島) : 現在、17か国、40名の方が学習されています。</p> <p>(石川) : 今回の「日本語発表会」ですが、どのような催しなのですか。</p> <p>(竹島) : はい、日本語発表会は、東鳥取公民館で日本語を学ぶ外国人のみなさんが、日頃の学習成果を「日本語」で発表できる場です。 開催日時は、12月22日の日曜日、午前10時から。会場は阪南市役所別棟1階の第2会議室です。参加費は無料で、申し込みも必要ありません。</p> <p>(森下) : 「日本語」だけで発表っていいことですね。 それは外国人の方にとっては、なかなか大変ではないかと。 例えば、自分が海外へ行って、現地の方の前で現地の言葉でスピーチするって考えると、すごく緊張すると思います！ 竹島さん、今回は、何人くらいの方が参加されますか。</p> <p>(竹島) : 今回は14か国31名の学習者が発表予定です。ふだんは、大勢の日本人の前で話をする機会なんてないので、みんな緊張するみたいですよ。</p> <p>(石川) : 日本語を学習する、といっても、長年日本にお住まいの方で、日本語に慣れていらっしゃる方から、日本にいられてまだ日が浅い方まで様々かと思いますが、どのようなことを学ぶか、学習内容の調整は大変ではないですか。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	説明したいこと	<p>(森下) : 日本語クラブのみなさんは、日頃、東鳥取公民館で、地域にお住いの外国人の方に対して、生活に必要な日本語を指導していらっしゃいます。 日本語指導教室の活動については、今年の5月の阪南TVの放送に4人の方がご出演、ご紹介くださいました。 現在、教室には何名の外国人の方が学習されているのでしょうか？</p> <p>(竹島) : 現在、17か国、40名の方が学習されています。</p> <p>(石川) : 今回の「日本語発表会」ですが、どのような催しなのですか。</p> <p>(竹島) : はい、日本語発表会は、東鳥取公民館で日本語を学ぶ外国人のみなさんが、日頃の学習成果を「日本語」で発表できる場です。 開催日時は、12月22日の日曜日、午前10時から。会場は阪南市役所別棟1階の第2会議室です。参加費は無料で、申し込みも必要ありません。</p> <p>(森下) : 「日本語」だけで発表っていいことですね。 それは外国人の方にとっては、なかなか大変ではないかと。 例えば、自分が海外へ行って、現地の方の前で現地の言葉でスピーチするって考えると、すごく緊張すると思います！ 竹島さん、今回は、何人くらいの方が参加されますか。</p> <p>(竹島) : 今回は14か国31名の学習者が発表予定です。ふだんは、大勢の日本人の前で話をする機会なんてないので、みんな緊張するみたいですよ。</p> <p>(石川) : 日本語を学習する、といっても、長年日本にお住まいの方で、日本語に慣れていらっしゃる方から、日本にいられてまだ日が浅い方まで様々かと思いますが、どのようなことを学ぶか、学習内容の調整は大変ではないですか。</p>
説明したいこと			
<p>(森下) : 日本語クラブのみなさんは、日頃、東鳥取公民館で、地域にお住いの外国人の方に対して、生活に必要な日本語を指導していらっしゃいます。 日本語指導教室の活動については、今年の5月の阪南TVの放送に4人の方がご出演、ご紹介くださいました。 現在、教室には何名の外国人の方が学習されているのでしょうか？</p> <p>(竹島) : 現在、17か国、40名の方が学習されています。</p> <p>(石川) : 今回の「日本語発表会」ですが、どのような催しなのですか。</p> <p>(竹島) : はい、日本語発表会は、東鳥取公民館で日本語を学ぶ外国人のみなさんが、日頃の学習成果を「日本語」で発表できる場です。 開催日時は、12月22日の日曜日、午前10時から。会場は阪南市役所別棟1階の第2会議室です。参加費は無料で、申し込みも必要ありません。</p> <p>(森下) : 「日本語」だけで発表っていいことですね。 それは外国人の方にとっては、なかなか大変ではないかと。 例えば、自分が海外へ行って、現地の方の前で現地の言葉でスピーチするって考えると、すごく緊張すると思います！ 竹島さん、今回は、何人くらいの方が参加されますか。</p> <p>(竹島) : 今回は14か国31名の学習者が発表予定です。ふだんは、大勢の日本人の前で話をする機会なんてないので、みんな緊張するみたいですよ。</p> <p>(石川) : 日本語を学習する、といっても、長年日本にお住まいの方で、日本語に慣れていらっしゃる方から、日本にいられてまだ日が浅い方まで様々かと思いますが、どのようなことを学ぶか、学習内容の調整は大変ではないですか。</p>			

(竹島)：公民館での日本語指導の際は、学習者とわれわれ支援者がマンツーマンで指導しています。ふだんの学習内容については、一人ひとりの進み具合に合わせて教材などを選んでいきます。

また、今回の発表会での発表内容についても、指導の進み具合に応じて、学習者と支援者が相談して考えています。

(石川)：みなさん、どんな内容を発表されるんですか。

画像 1 日本語 1 4 枚を適当に切り替える

画像 2 日本語 2

画像 3 日本語 3

画像 4 日本語 4

(竹島)：内容はさまざまです。自分の国のこと、日本での生活のこと、家族のこと、日頃気になっていることなどをよく取り上げますね。

その他、歌が得意な方は歌を歌ったり、ダンスをしたり。パフォーマンスの発表でも OK です。それぞれのお国柄というか、個性があって見ていて楽しいですよ。発表をとおして、外国人の方の日本での生活のことや、多文化共生について、われわれ日本人の側も学ぶことが非常にたくさんあると毎回感じます。

(石川)：今までで特に印象に残ったパフォーマンスはありますか？

(竹島)：アドリブをお願いします。

(森下)：なんだか楽しそうですね。

今日は学習者の河野（こうの）ニックテさんと萩尾（はぎお）ジュンコさんにお越しいただいてます。お二人の自己紹介をお願いできますか？

(河野)：こんにちは。河野ニックテです。グアテマラから来ました。来日して 13 年になります。阪南市の日本語教室に通い始めて 12 年になります。

(萩尾)：こんにちは。萩尾ジュンコです。ブラジルから来ました。来日して 28 年になります。阪南市の日本語教室に通い始めて 8 年になります。

(森下)：河野さんはグアテマラ出身とのことですが、まず、グアテマラという国はどんな国ですか？

(河野)：（グアテマラの紹介）

(森下)：ありがとうございます。

萩尾さんはブラジル出身とのことで、ブラジルといえば、サッカーやサンバなどがよく知られていますが、ふだんの生活の中で日本とブラジルの違いを感じることはありますか？

(萩尾)：(日本とブラジルの違い)

(森下)：ありがとうございます。

日本の中でもこの阪南市に来られて、公民館で日本語を学習されていますが、お二人にとって阪南市はどのようなまちですか。

(河野)：(阪南市の感想)

(萩尾)：(阪南市の感想)

(石川)：ありがとうございます。今回の発表会では、発表を聞くだけでなく、外国人の方と交流するチャンスもありますか。

画像5 日本語5 サンタ

画像6 日本語6 集合

(竹島)：はい、発表が終わった後に、交流会も考えています。

当日は、朝10時からお昼の12時頃までが発表会で、その後、軽食を食べながら、学習者と交流していただける時間を設けます。

学習者のみなさんは、ふだんは別々の生活を送っていますし、同じ公民館で学習しているといっても、日本語指導は学習者と指導者がマンツーマンなので、他の学習者と一緒になる機会が実は少ないのです。

なので、この交流会が、外国人同士の交流の場にもなっています。

(石川)：そうなんですね。阪南市にお住いの外国人の方が多数集まられるという、貴重な場でもあるんですね。

発表会にはご家族で出演される方もいらっしゃるのかな。

(竹島)：そうですね。ご家族で参加してくださる方もいらっしゃいますよ。お子さんが一生懸命日本語でスピーチされる場合もあります。子どもは言葉を覚えるのも早いです。

(石川)：この発表会を通して、家族ぐるみの交流につながっていくんですね。

(竹島)：週1回、公民館で日本語を学習するだけでは、なかなか上達しません。

やはり、ふだんの生活の中で「いかに日本語を使っていくか」ということが大切なんだと思います。教室を通じて、多くの友達をつくってもらって、この阪南市での生活をより豊かに楽しんでいただくためのお手伝いができ

ればと我々も考えています。

また、昨年は発表者、来場者合わせて総勢100名を超える参加者がありました。今年もたくさんの方にお越しいただきたいです。

(森下)：そうですね。公民館は市民の方が学習の場としてご利用いただく施設ですが、公民館や他の公共施設も含めて、まだまだ施設の多言語化が追いついていないのも事実かと・・・

外国人の方が利用するとなると、わかりやすさは不可欠ですね。

(竹島)：そうですね。もっと気軽に利用できるようになれば良いのですが。

我々の日本語発表会には、交流会のゲストとして、公民館で活動されている方にもお声がけして協力していただいています。

今回は、同じ東鳥取公民館で活動されている、フォークギターのクラブ「シャイニング」のみなさんが演奏してくださることになっています。

(森下)：にぎやかに盛り上がりそうですね。

ここで、今年9月に開催された、東鳥取公民館での日本語クラブさんの展示風景をご覧くださいませ。

画像 7～9 公民館展示 1～3 適当に切り替える

(石川)：様々な国の展示がされていますね。

料理教室もされたりするのですか。

(竹島)：中国料理やインドネシア料理の講習会も好評でしたよ。

映像 1 東鳥取公民館まつり (2分20秒)

※映像の音を消して、出演者の会話を流す。

(石川)：フルーツを使って、ものづくりをされていましたね。

(竹島)：これはいつもとは逆で、学習者のベトナム出身のクウォックさんに、フルーツカービングの製作を教えてもらっているところなんですよ。

画像 10～12 カービング 1～3

(森下)：彼は、日本に来る前は料理人をしていたそうで、あざやかな手さばきでフルーツや野菜をカットしながら、てきぱきと指示を出していましたよ。フルーツがとても身近なお国ならではですね。

このときは、先生方が生徒さんになって一生懸命に飾りを作って、とても和やかな雰囲気、いい関係を築いてるんだなって思いました。

(石川)：きっかけは日本語を学んでいただくことで、そこから様々なかたちで地域

の方々と交流が生まれていくというのは素晴らしいですね。

SDGs の目標では、4 番「質の高い教育をみんなに」、11 番「住み続けられるまちづくりを」につながる取組ですが、国際交流という観点から、他の多くの目標にもつながるものだと思います。

ぜひ、多くの方に、みなさんと交流を持っていただけるといいですね。

(竹島)：はい。ぜひ多くの方にご来場いただき、ともに楽しんでいただければと思います。

(石川)：最後に、学習者のお二人に、日本語発表会に向けての意気込みをお聞かせ願えますか？

(河野)：(発表会に向けて)

(萩尾)：(発表会に向けて)

(森下)：楽しいお話をありがとうございました。日本語発表会が待ち遠しいですね。阪南市日本語クラブ指導者の竹島さん、そして学習者の河野(こうの)さん、萩野(はぎの)さん、本日はご出演ありがとうございました。

(3人)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)

CM 「阪南市シティプロモーションムービー(観光編) 45秒」(添付)

(<https://www.youtube.com/watch?v=B6a76Dhpgsw>)

コーナー名	
★イベントご案内★ <1月12日(日) 令和2年阪南市消防出初式 -約7分->	
<p>13:12</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下(司会) ・石川(レポーター) ・武輪 (危機管理課) <p>(用意するもの) フリップ 地図</p>	<p>(森下)：次のコーナーは、イベントのご案内です。 1月12日(日) 阪南市消防出初式について、危機管理課 武輪さんに担当させていただきます。よろしくお願いします。</p> <p>(武輪)：よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow;"><拍手>(全員で拍手します)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>説明したいこと</p> </div> <p>(石川)：空気が乾燥する季節です。 年末には歳末夜警、お正月を過ぎたら「消防出初式」が待っていますね。</p> <p>(武輪)：はい。令和2年1月12日、日曜日、午前10時00分から飯の峯中学校におきまして、「令和2年阪南市消防出初式」を挙行します。</p> <p>画像1 開始</p> <p>(武輪)：恒例の泉州南消防組合阪南消防署・阪南市消防団合同による「消防出初式」です。式には消防職員と消防団員など総勢約130人が参加し、消防ヘリからのメッセージ投下、阪南吹奏楽団の演奏に合わせた分列行進や消防車両による一斉放水を行います。 出初式の起源は、江戸時代に始まったと言われており、現在まで受け継がれている消防関係者の仕事始めの行事であり新春恒例の行事の一つです。</p> <p>画像1 終了</p> <p>(森下)：消防団からもたくさん参加するとお聞きしました。消防団のことを教えてください。出初式」</p> <p>画像2 開始</p> <p>(武輪)：阪南市消防団は、現在104名の団員で活動しています。 最近、火災だけではなく、地震、大雨、台風と自然災害が多くなってきています。そのため、消防職員、消防団員のみなさんの活動の幅が広くなり、また、増えてきています。</p> <p>(石川)：消防団の方を見かける機会が増えていますが、いつ活動しているのですか。</p> <p>画像2 終了</p> <p>(武輪)：消防団員は、ふだんは職業を持ち、いざという時に「自らの地域は自らが</p>

<p>フリップ A3 縦 会場地図</p>	<p>守る」という精神に基づき、消火活動や救助活動など地域のみなさんの生命や財産をまもるため献身的に活動を行っています。</p> <p>(森下)：ホントに、素早く駆けつけてくださいますよね。</p> <p>(武輪)：昨年の7月豪雨の時には、雨の中、急きょ足りなくなった土のうの作成、また、台風21号では、高潮によって溢れそうになった水路の排水活動のほか南海尾崎駅火災においては、いち早く消火活動を行い他の建物への延焼を食い止めました。 ぜひ、新年は、阪南市消防出初式の見学にいらしてください。</p> <p>(石川)：このイベントは、SDGsの11番「住み続けられるまちづくりを」につながっています。 見学は自由です。 見学に来ていただいたお子さんを対象に、お菓子などの配布も予定しているそうですので、ぜひご家族でお越しください。</p> <p>(森下)：武輪さん、今回は桃の木台の「飯の峯中学校」が会場になっていますが、見学には車で行って大丈夫ですか。</p> <p>フリップ カメラで映しながら</p> <p>(武輪)：もちろんです。車は桃の木台小学校に停めていただくと、中学校までは徒歩5分程度で到着できます。お気をつけてお越しください。</p> <p>(森下)：「消防出初式」は、テレビではご覧になることがあっても、間近で見る機会にはなかなか出会わないかと思います。 1月12日(日)午前10時から「飯の峯中学校」で、みなさんの勇姿を見学してはいかがでしょうか。</p> <p>(石川)：危機管理課の武輪さん、ご案内ありがとうございました。</p> <p>(武輪)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)</p>
---------------------------	---

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（子育て編） 52秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名	
★イベントのご案内 <1月12日(日)「成人式のご案内」-約6分->	
13:20	(森下) : お待たせしました。本日最後のご案内です。 生涯学習推進室の木村さん、秋山さんにお越しいただいています。 よろしくお願いします。
出演)	(木村・秋山) : よろしくお願ひします。
・森下(司会)	<拍手>(全員で拍手します)
・石川(ナビゲーター)	
・木村	
・秋山	
(生涯学習推進室)	
	説明したいこと
ビデオレター	(木村) : 本市では、今年度、成人を迎えられる方を対象に成人式を開催します。 新成人としての門出をお祝いするとともに、参加されるみなさんにとって 有意義な式となるよう、現在、準備を進めています。
・辻 陽飛	
・田中 汐音	
(成人式運営委員)	画像 1 成人式のご案内
(用意するもの)	(木村) : 開催日時は令和2年1月12日(日)午後1時30分から、 開催場所は、阪南市立文化センター(サラダホール)となっています。 なお、会場へは30分前から入ることができます。
	(石川) : 阪南市の成人式は、成人の日の前日に開催するのですね。
	(木村) : そうですね。学校や就職で、ふだんは阪南市を離れている方にも出席して いただけるように、今は、前日のお昼に開催しています。 また、自分たちの成人式は自分たちで作り上げるということで、企画、運 営を新成人のみなさんで構成する成人式運営委員で行っています。 これは、SDGs(エスディーゼーズ)の目標 17番「パートナーシップで目標を達成しよう」 にも結びついています。 大人への第1歩を踏み出すのにあたり、心に残る良い式典にしたいと、運 営委員のみなさんが頑張ってくれています。
	(木村) : それでは、紹介ビデオをご覧ください。
	映像 1 成人式のご案内(1分20秒)
	(森下) : 今日は、成人式運営委員の辻 陽飛(ツジ ハルヒ)さんと田中 汐音 (タナカ シオネ)さんがビデオレターでご出演してくださっています。 秋山さん、市の担当者として、運営委員のみなさんたちと関わってこられ たと思いますが、何かエピソードはありますか。
	(秋山) : アドリブ をお願いします。

(森下) : みんなで力を合わせて運営しようとしている様子が伝わってきますね。
出席されるみなさんも、思い出に残る成人式になるのではないのでしょうか。

画像 2 成人式の対象者

(秋山) : 最後に、対象者などについてご案内します。
今回の成人式の対象は、平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの方となっています
もちろん、現在、阪南市にお住まいではない方も、出席していただけます。
また、ご家族の方も来場可能となっていますので、ぜひ一緒にいらして楽しいひとときをお過ごしください。
対象者への個別のご案内は行いませんので、直接会場にお越しください。

カメラ 4人を映す

(石川) : 生涯学習推進室の木村さん、秋山さんご案内ありがとうございました。

(木村・秋山) : ありがとうございました。

カメラ 4人を映し続ける。

<まとめ>

(森下) : ただいま流れている番組は放送終了後もアーカイブとしてご覧いただくことができます。

本日も長時間ご視聴いただき、ありがとうございました。

それでは みなさん さよーならー **<4人で手を振りつづける>**